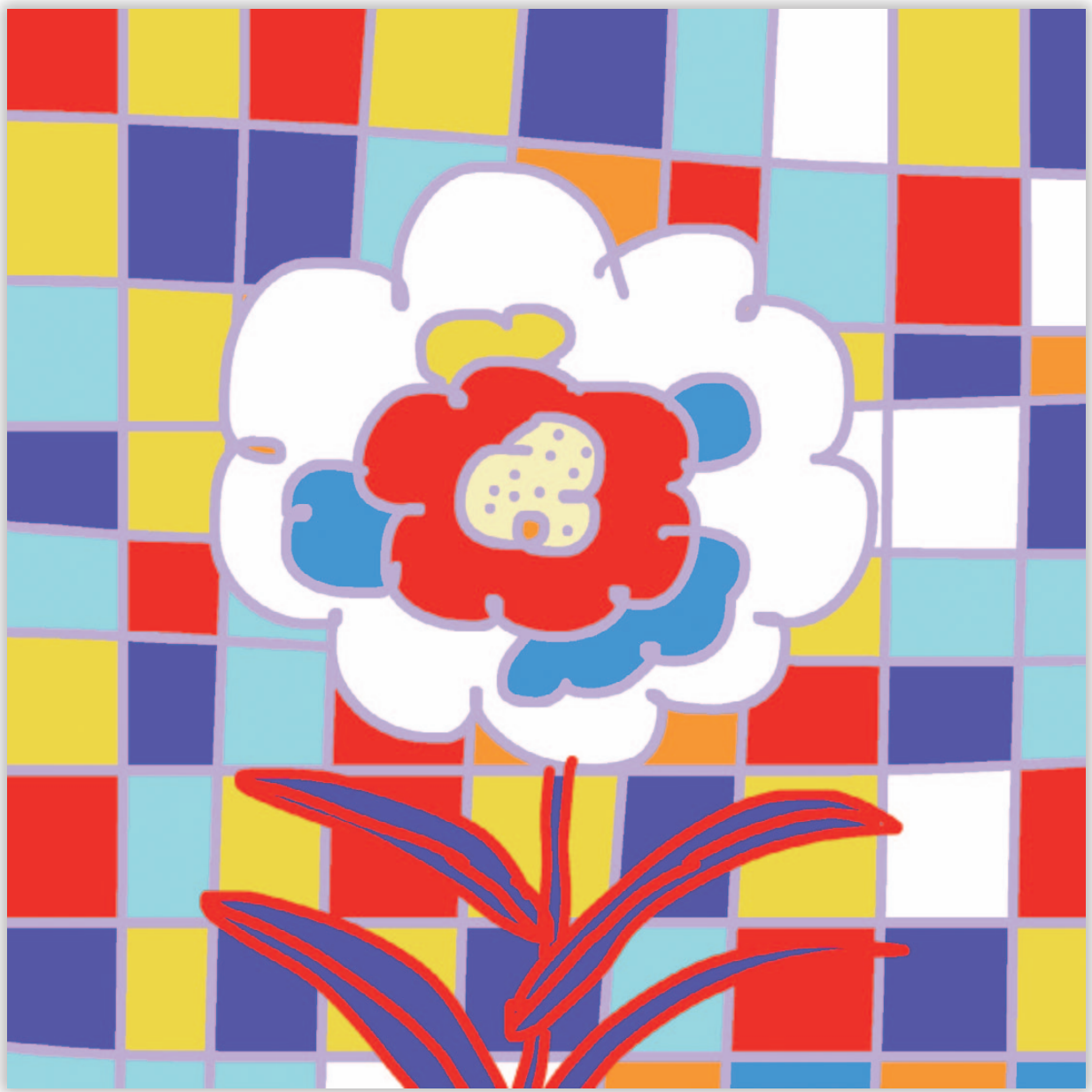
一般社団法人障がい者アート協会

第９期　事業報告書

2023 年 12 月～ 2024 年 11 月



Artist　空叶論（くうとろん）
Title　希望の花

目　次

●概略 …… P2

●障がい者アート周知活動：オンラインギャラリー運営他 …… P3

●収益事業他：作品二次利用及びその他収入 …… P4

●経済支援実績：著作権利用料及び創作活動応援費 …… P5

●財務状況：損益・資本 …… P6

●その他 …… P7

●参考資料 …… P8～P13

・参考資料１（作品二次利用実績一例）

・参考資料２（可能性アートプロジェクト）

・参考資料３（活用企業の声、一部抜粋）

・参考資料４（登録者及び登録団体の声）

・参考資料５（財務諸表・種別収入内訳・登録者分布）

●9期お取り組み及びご協力企業様 …… P14

以上

表紙のイラスト

artist

空叶論（大分県在住 精神障害 統合失調症）

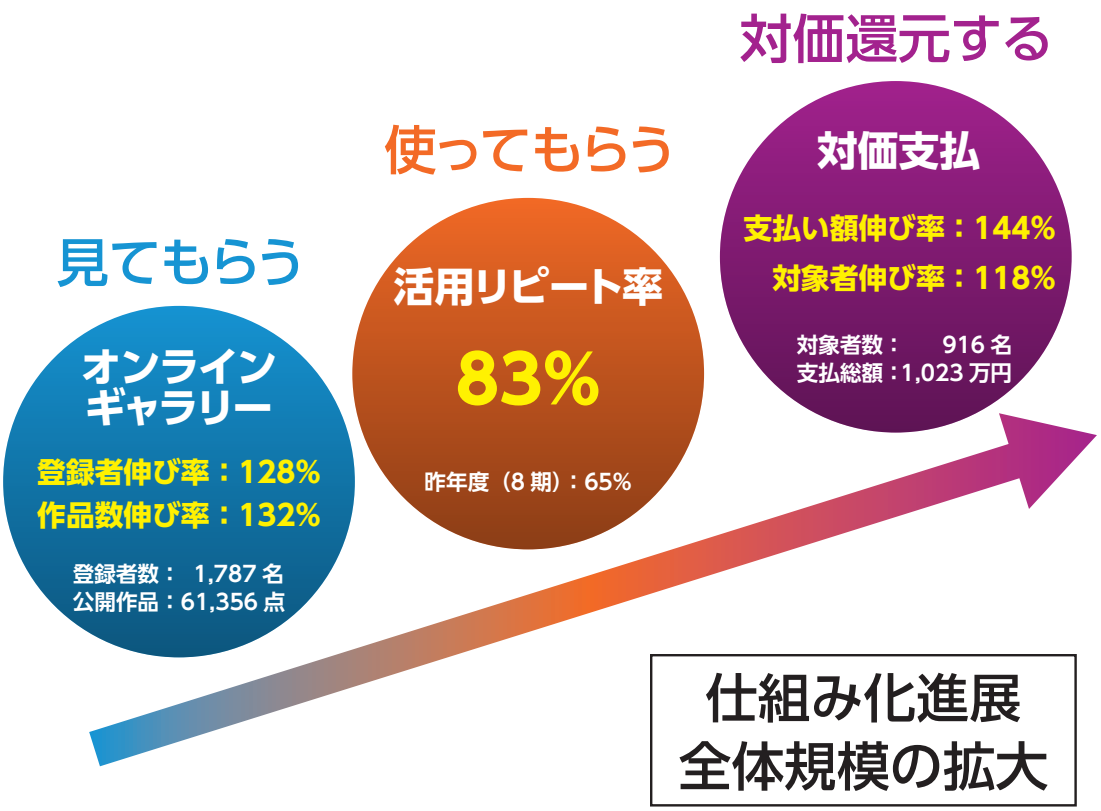
絵が趣味で毎日描いてます。 水彩色鉛筆を主に使っております。
キャラクターイラストがほとんどですが、よろしくお願いします。

Title

一応抽象画のつもりで描きましたが、描き終わって改めて自分で 絵を見た時、タイトルが浮かびました。

概略

当協会の第9期は、障がい者の社会参加を実現する新たな社会インフラ構築に向けて取り組む「見てもらう」「使ってもらう」「対価を還元する」という一連の流れにおいてそれぞれ規模を拡大させ、着実にその裾野を広げることができました。また、継続的にお取り組みいただける企業の増加に下支えされた事業収入も前期比増となっていることから、この一連の流れの仕組み化も前進させることができたものと考えられます。



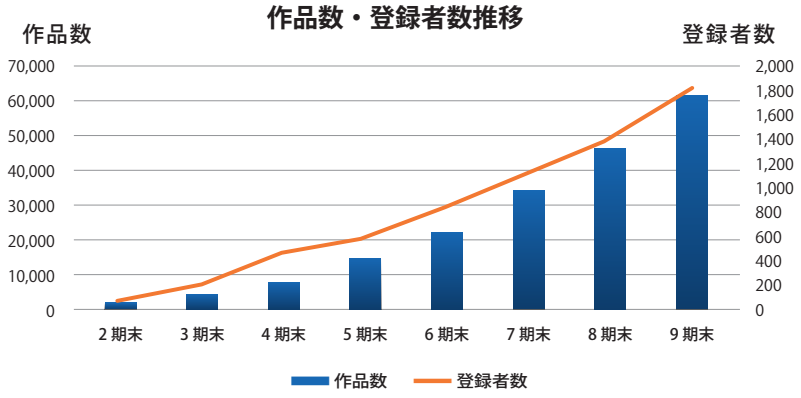
加えて、これまであまり縁のなかった表彰やメディア取材、或いは他企業とのコラボレーションやイベントの実施等、本取り組みを周知いただける機会を多々頂戴したことや、収益性の改善により、これまでの課題であったオンラインギャラリーの閲覧性向上や作品活用を促進する新機能の追加といったシステム投資、そして圧倒的に不足していた要員追加等に自己資金で最低限の対応もできました。

以上を振り返ると、当初の計画値に対しては未達な部分や積み残したままの重要課題はあるものの、「新たな社会インフラ構築」という目標に向けて支援する側・される側の裾野を拡げながら、その基本的枠組み構築について手応えを感じることができた実りの多い一年間でありました。

以上

■　障がい者アート周知活動：オンラインギャラリー運営他

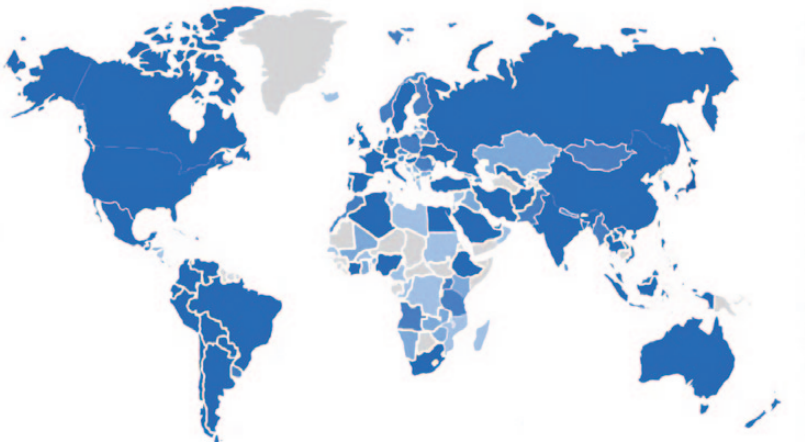
情報発信という点でハンディキャップのある人々にとって、自らの作品を発信できるオンラインギャラリー【アートの輪】は、全国47都道府県から参加される 約1,800名の生み出す 60,000点を超える多様で個性豊かな作品を、国内の47都道府県に海外95カ国を含む約10万人の人々に9期一年間で鑑賞していただきました。



この実績は【アートの輪】が、社会に必要な公共性を有しながら、かつ一定の特徴を持つ一つの魅力的な美術館を目指して順調に成長を続けているものと理解しています。

【アートの輪】参加者分布

【アートの輪】閲覧者分布

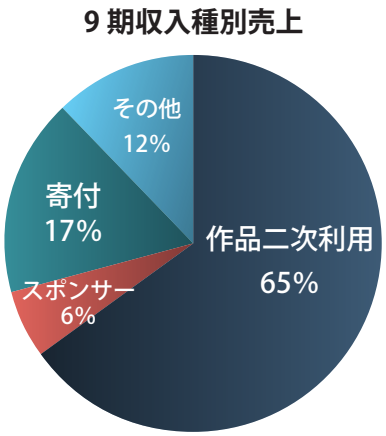


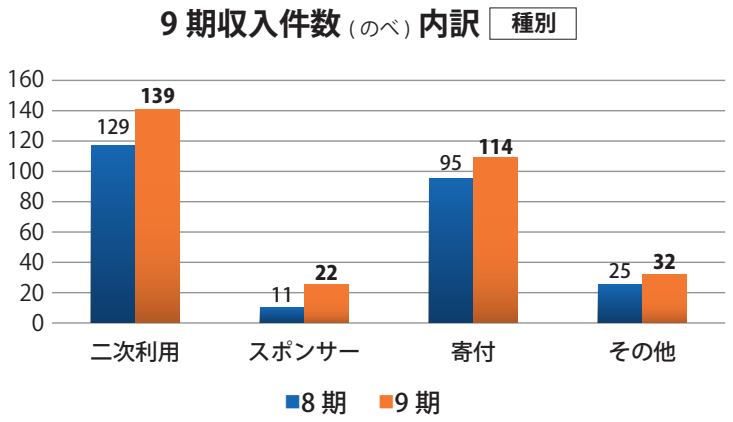
また、昨年地震や豪雨災害で壊滅的な打撃を被った能登の復興を応援するイベント（日本リユースシステム株式会社主催）に作品展示という形で参加しました。具体的には当協会内で募集した能登の地域のみなさんを応援する作品を現地復興イベント会場で展示し、被災地域の方々に少しでも元気を取り戻していただくというものでした。この思いは会場に訪れた地域の人々に伝わり、「ありがたいですね」「勇気づけられますね」等たくさんのお言葉を頂戴したと同時に、障がいを乗り越えながらも創作活動を続ける人々の生み出すアートの素晴らしさを多くの人に知っていただく機会ともなりました。

このように9期においては従来のバーチャルな展開にリアルの展示も加え多様な形で周知活動を行うことができました。

■　収益事業他：作品二次利用及びその他収入

9期一年間の収入総額は37,843千円、前期比24％の増収となりました。この結果には総額の65％を占める「作品二次利用」※参考資料1による収入の増加が大きく寄与していますが、当協会単独での収入は一昨年に改定しましたアート使用料規程の影響もあり対前期ほぼ横ばい（単価下落・件数増）にとどまり、その代わりに前期同様TOPPANホールディングス株式会社様、サポートセンターどりーむ様との共催という形で参画させていただいています「可能性アートプロジェクト」※参考資料2を通じての、TOPPANホールディングス株式会社様並びに同社お取引先様のお取り組みから得た収入が対前期165％の大幅増となり、全体収入の増加を牽引した形となっています。





また、過去より継続的にお取組み※含、ご寄付いただいている57社のリピート企業に12社の新規お取り組み企業を加えて、本年度は69社の企業のみなさまが当協会の活動にご参加いただきました。

定期的に継続してお取り組みいただいたリピート率（右表）は前期の66％から83％と大きく向上し、その企業のみなさまからの収入が全体の約9割を占める状況となっています。

	8 期	9 期
お取り組み企業数	64	69
内、リピート企業数	42	57
リピート率	66%	83%
全体収入（千円）	30,531	37,843
内、リピート企業様からの収入	23,557	34,077
ピート企業様収入成比	77%	90%

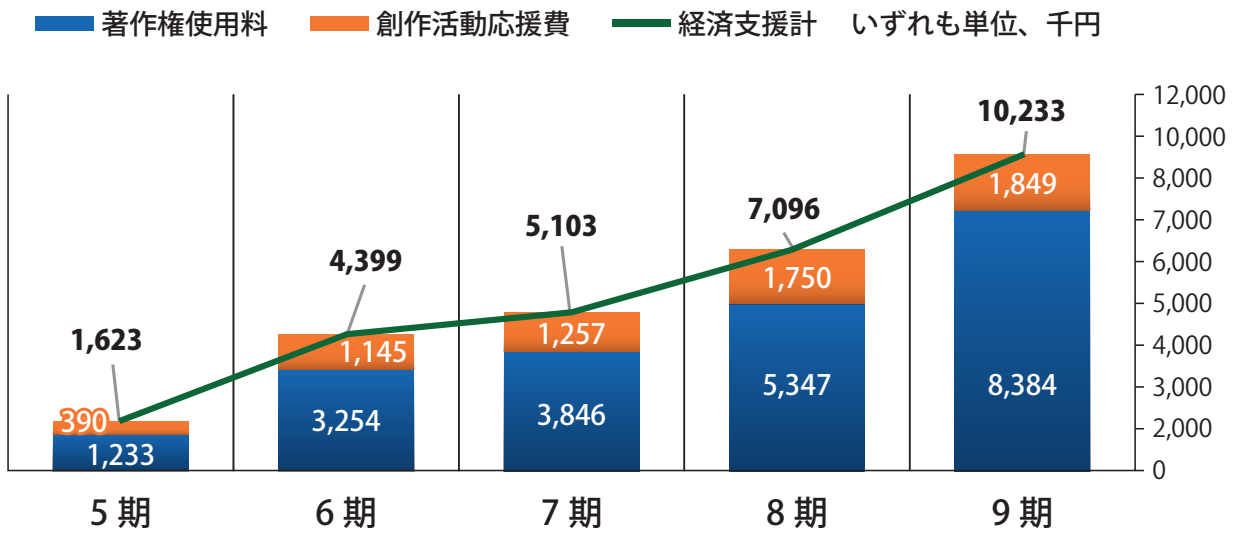
この結果はアートを活用された企業のみなさまにご満足いただいているものと考えられ※参考資料3、今後の成長についてまだまだ伸びしろがあることの証と考えます。

作品二次利用以外のそれぞれの収入も対前期で伸びていますが、特に寄付については金額ベースでは特殊要因もあり微減となりましたが、件数では20％の伸びを示しました。これは継続的な企業からの支援に加え、主にチャリティ媒体を経由した全国47都道府県からの個人の賛同者の支援が大きく伸びたことによるものであります。このことは前述の周知活動の着実な前進と考えられ、リピート企業の増加同様に活動の手応えを実感できるものであると言えます。

■　経済支援実績：著作権利用料及び創作活動応援費

第9期は前述の事業収入を原資に、支払回数及び種別（著作権使用料・創作活動応援費）の重複を除き916名の参加者に対して総額約10,233千円（前期比144％）の経済支援を実施することができました。

経済支援額推移



前期比で支援対象者数は118%、支援総額は139%と大きく伸びました。一人当たりの支援額も前期の約9,000円から約11,000円と増加しましたが、これは単価の高い案件が多かったことに加え、著作者の権利を最大限に優先する著作権管理等事業者として新たに設定した「アート使用料規程」の運用が適切に行われた結果であり、「あるべき姿」に一歩近づけたものと理解します。

経済支援対象者数（重複除き実数）につきましては916名と対8期2割ほど増加しましたが、総登録者数に対するその割合を見れば51%と前期の同比較56%から微減の結果となりました。これは、登録者数増加の勢いに事業収入件数が追いついていないことからくる結果であり、さらなる事業収入の増加に向けてのアクションが必要であるものと認識しています。

（単位：人）

		8 期	9 期	対 8 期
経済支援対象者	個人	563	658	117%
	団体所属個人	213	258	121%
	（団体数）	43	47	109%
	計	776	916	118%
登録者総数		1,393	1,787	128%
支援率		56%	51%	

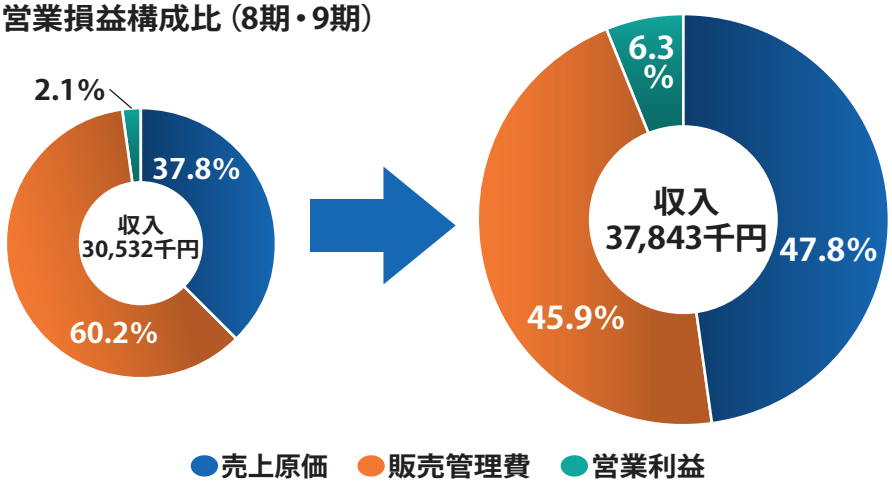
裾野（実数）という意味では約2割の広がりを見せている実績に加えて、その金額に関わらず著作権使用料や創作活動応援費を実際に手にした参加者からのメッセージ※参考資料4を糧にさらなる支援規模拡大、支援率の向上に向けて邁進いたします。

■　財務状況：損益・資本※参考資料5

9期は収入（売上）が37,843千円の増収に販売管理費を微増に抑えることができ、最終的な営業損益は2,442千円と前期に対して大幅な増益となりました。

今期は文化庁に登録された著作権等管理事業者としてのアート使用料規程をはじめて一年間通して運用することとなり、損益に対してどの程度の影響を与えるか予測できませんでしたが、結果的には原価率が約10％程度上昇し、売上総利益率が約62%から約52％まで一割ほど減少することとなりました。それでもあらゆる事業を見渡しても本事業は売上総利益率としては高い部類の事業モデルと考えられ、売上増加に対する販売管理費の増加をコントロールできれば、当該事業が十分に持続的成長可能なモデルになりうるものと思われます。

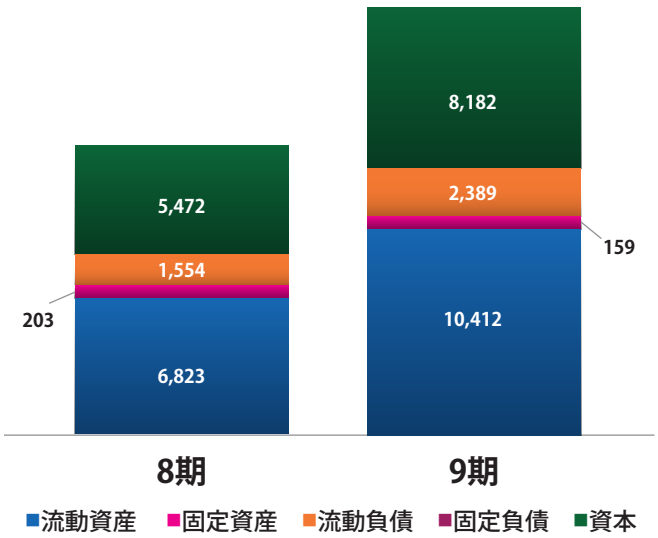
営業損益構成比（8期・9期）



資産及び負債の状況につきましては、売上増により流動負債の未払消費税が増加したものの、一方で流動資産である現金が前期に比べ大きく増加したことから、純資産は8期に比べ2,700千円ほど増加しました。これにより総体的に財務状況としては前期同様改善傾向を持続することができました。

現在未払消費税の他には負債がほぼない状態であり、単年度の運営においては概ね自己資本で賄えているという比較的健全な財務状況と言えますが、今後の飛躍的な成長投資に充当するだけの十分な資本があるとは言えず、他人資本の調達が今後の大きな課題として明確になったと認識しています。

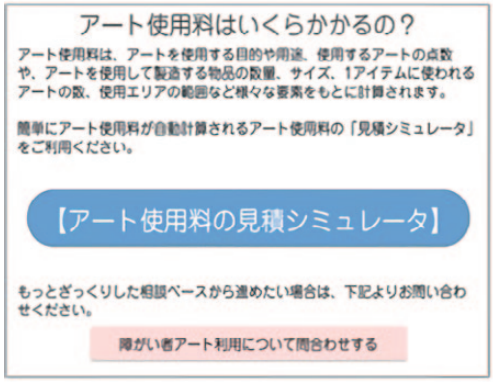
貸借対照表（8期・9期） 単位：千円



■　その他_1：アート使用料シミュレーション機能のWebサイトへ実装

これまで「アートを活用する場合その使用料がいくら位かかるのか」という質問を多く受けてまいりました。使用料は用途や数量、サイズ他様々な条件をかけ合わせロジカルに算出されます。前期に著作権等管理事業者として文化庁に登録された際に算出法を全て文書化し、それらを文化庁並びに当協会のWebサイト上に公開はしていますが、やはり内容は複雑で一読しただけでの理解は難しいと思われます。

この問題を解決し、アート活用のハードルを少しでも下げることがここ数年の当協会の課題でありましたが、9期に「見積シミュレータ」としてWebサイト内に誰もが簡単にアート使用料を確認できる機能を追加しました。



従来あまり公に語られることのなかったアート使用料を広くオープンにできたことは価値のあるアクションだと確信しています。まだ数は多くありませんが想定したより多くの人に現在このシステムをご利用いただいておりますことから、状況を見て機能のブラッシュアップを図ってまいります。

■　その他_2：第62回 社会貢献者表彰（https://www.fesco.or.jp/ceremony/2024_62.php）

公益財団法人社会貢献支援財団が年に2回ほど、国内の有意な社会貢献に取り組む法人或いは個人を表彰する制度である第62回社会貢献者表彰にて当協会が表彰をいただきました。

当協会は「インフラを作る」という、どちらかと言えば黒子的な存在なこともあり、このような第三者認証的な表彰というものにはこれまで縁遠かったのですが、こうして注目していただけたことで改めて当協会の取り組みの正しさや意義を確認できたと同時に、継続していかなければいけないという責任を痛感しています。

参考資料 1（作品二次利用実績一例：2023 年 12 月～ 2024 年 11 月）

三国ワイン株式会社 様
【ワインラベル】

株式会社オーディオ・テクニカ様
【オリジナルカレンダー】

日本リユースシステム株式会社 様
【キッチン de 給食 キッチン用品回収 BOX】

NS ユナイテッド海運株式会社様
【クリスマスカード】

全国社会福祉協議会 様
【「月刊 生活と福祉」表紙】

株式会社時代工房様
【オリジナル雑貨ブランド「Genseki」】

日本アパレル・ファッション産業協会 様
【展示会ポスター】

株式会社ウィンドベル様
【デジタルサイネージ「ParaCanvas」】

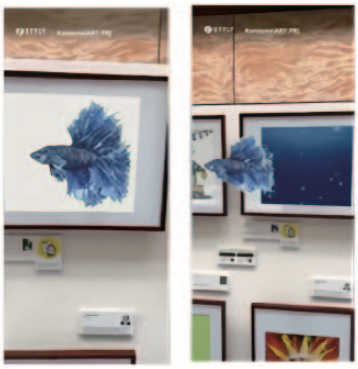
馬淵建設株式会社様
【建設現場仮囲い (左: 東京都錦糸町 右：横浜市桜木町】

参考資料２　可能性アートプロジェクト

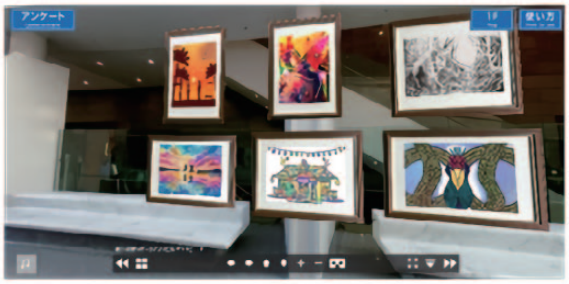
可能性アートプロジェクトとは
TOPPANの高精細な画像データ処理技術を活用し、障がいのあるアーティストの作品を付加価値化することを通して、社会的課題解決 (障がい者の自立) と経済的事業活動が両立するビジネスモデルを構築することを目指す取り組みです。また、そのビジネスモデルの構築を、TOPPANの企業研修のプログラムとして採用し、次世代 リーダーの育成にも活用しています。

「可能性アートプロジェクト」作品活用事例（一部抜粋）

【小石川本社エントランス展示】



※ AR 鑑賞体験



VR 展示
https://toppanhrd.jp/kanouseiart/index.html

「可能性アートプロジェクト ®」コンセプトルーム ヴィラフォンテーヌ グランド 羽田空港
(TOPPAN・住友不動産共同事業)

参考資料３（活用企業の声　一部抜粋）

●当社が毎年取引先に配るカレンダーのデザインに採用していますが、毎年楽しみにしてくださる方も多く、デザインセンスも良いため好評。
また、このようなノベルティを作っていることに対しても会社の姿勢として評価いただけブランディングにも繋がっています。
障がい者アート協会の活動に賛同しつつ、アート作品も自由に選べるので、制作物に採用するデザインクオリティとしても満足しています。

（株式会社オーディオ・テクニカ様：オリジナルカレンダー・ワインラベル）

●とても自由でピュアな発想で制作された作品が多く、ワインのコンセプトと合っているため活用しています。毎年とても素敵な作品をご提供頂き、大変感謝しております。
同時に各企業様からもＳＤＧｓに関連した商品として評判高く、ご愛顧頂いております。
毎年素敵な作品をありがとうございます！

（三国ワイン株式会社様：オリジナルワインラベル）

●アーティストの皆さんのメッセージ確認させていただき、関係者とも共有させていただきます。なぜこの絵を描いたのかなど知ることができ、また、喜びの言葉や感謝のメッセージなど胸にしみ、お願いしてよかったと心から思いました。
こちらこそありがとうございました。
これからもアーティストの皆さんのご活躍を心からお祈り申し上げます。

（株式会社ヤマデン様：オリジナルカレンダー）

●自分の隙間時間で何らかの障害をお持ちの方の支援が出来ればと思い取り組みを決めました。
少しずつではありますが、商品にした雑貨に興味をもち購入して頂けています。
ユニークなたくさんの絵画を手に取り見ることができ、お気に入りの商品を購入できたりして、いろんな方に知って頂けている機会が増え良かったと感じています。

（株式会社時代工房様：オリジナル雑貨ブランド/Genseki）

●製品を作る為に生地パターン化するのですが、1枚の作品が全く違った雰囲気になりとても新鮮です。印刷担当も作品を印刷する際に、これは・あれはと楽しそうに話しています。縫製担当もいつも違う柄があるのでとても楽しみにしています

（株式会社イデビュ様：アパレル・雑貨）

参考資料４（登録者及び登録団体の声）

※アート作品が二次利用として活用された、著作権利用料や創作活動応援費の対価を得たこと等に対して登録者及び登録団体より多くのメッセージを頂戴しています。

●自分の絵が選ばれた事はもちろん、見に来てくださった方からの「見に行ったよ！」の言葉がすごく嬉しくて嬉しくてたまりませんでした。このように展示する機会とワクワクする気持ちを下さった事に感謝いたします。

●絵をお仕事にするのが夢なので、一歩踏み出せた気持ちになりとても嬉しいです。この先も支援下さった方々に笑顔になって頂けるようなイラストを描いていきたいです。

●この度は僕の描いたカレンダーに使用していただき誠にありがとうございます。本当に嬉しいです。これからの活動の糧になります。これからも頑張りますね。

●選んでいただきありがとうございます！創作の励みになります。いただいた使用料で、大好物の干し芋を購入しました。

●アートの輪に参加させていただいていることで利用者さん一人一人がやりがいと目的を持って日々、作品作りに取り組むことができていると感じています。また、様々なイベントを主催していただいていることも利用者さんの意欲に繋がっているので、今後もイベントの際は積極的に参加をさせていただければと考えております。（団体代表）

●アートの輪は、作品を公開するだけでなく、次につながるようなとても見やすい仕組みになっているので、感謝でしかありません。企業の作品採用は、アーティストたちにとって、報酬を得るという経済的な支援だけではなく、自分に自信をつけ、気持ちを向上させ、精神的な安定にもつながる効果があります。そして創作活動応援費は、アーティストたちの作品制作意欲を維持させるとてもよい機会になっています。（団体代表）

●登録することでアーティストさんの作品が広がる可能性があることや、多くの方に発信していただき、見てもらう機会が増えることがとてもうれしく、またアーティストさんへの経済的支援にもなることがとても嬉しいなと思っております。また、アーティストさんは、自分の作品が載った会報誌とかを見て、「やったー！」ととても喜び、ご家族の方は、「こんなに可能性が広がるんですね！作品が社会のお役に立てることがとても嬉しいです！」ととても喜んでおります。（団体代表）

参考資料５（財務諸表・種別収入内訳・登録者分布）

貸借対照表
（2023 年 12 月～ 2024 年 11 月）

（単位：千円）

	8 期	構成比	9 期	構成比	増減額	増減率
流動資産合計	6,824	97.1%	10,412	98.5%	3,588	152.6%
固定資産合計	203	2.9%	159	1.5%	▲ 44	78.3%
資産の部合計	7,027	100.0%	10,571	100.0%	3,544	150.4%
流動負債合計	1,554	22.1%	2,656	25.1%	1,102	170.9%
固定負債合計	0	0.0%	0	0.0%	0	-
負債の部合計	1,554	22.1%	2,656	25.1%	1,102	170.9%
純資産の部合計	5,473	77.9%	7,915	74.9%	2,442	144.6%
負債・純資産の部合計	7,027	100.0%	10,571	100.0%	3,544	150.4%

比較損益計算書
（2023 年 12 月～ 2024 年 11 月）

（単位：千円）

	8 期	売上比	9 期	売上比	増減額	増減率
売上高合計	30,532		37,843		7,311	123.9%
売上原価	11,536	37.8%	18,077	47.8%	6,541	156.7%
売上総利益	18,996	62.2%	19,766	52.2%	770	104.1%
販売費及び一般管理費合計	18,366	60.2%	17,383	45.9%	▲ 983	94.6%
営業利益	630	2.1%	2,383	6.3%	1,753	378.3%
営業外収益合計	0	0.0%	136	0.4%	136	-
営業外費用合計	0	0.0%	8	0.0%	8	-
経常利益	630	2.1%	2,512	6.6%	1,881	398.7%

種別収入内訳

（単位：千円、件）

	8 期上期		9 期上期		
		構成比		構成比	対 8 期
作品二次利用 （件数）	16,515 (129)	54.1% (48.1%)	24,521 (139)	64.8% (45.3%)	148.5% (107.8%)
スポンサー （件数）	2,426 (11)	7.9% (4.1%)	2,189 (22)	5.8% (7.2%)	90.2% (200.0%)
寄付 （件数）	7,027 (95)	23.0% (35.4%)	6,600 (114)	17.4% (37.1%)	93.9% (120.0%)
その他 （件数）	4,564 (33)	14.9% (123.0%)	4,542 (32)	12.0% (10.4%)	99.5% (97.0%)
計 （件数）	30,531 (268)		37,851 (307)		124.0% (114.6%)

登録者分布

都道府県名	登録者数	(構成比)	都道府県名	登録者数	(構成比)	都道府県名	登録者数	(構成比)
北海道	64	(3.6%)	石川県	16	(0.9%)	岡山県	34	(1.9%)
青森県	20	(1.1%)	福井県	16	(0.9%)	広島県	21	(1.2%)
岩手県	13	(0.7%)	山梨県	8	(0.4%)	山口県	23	(1.3%)
宮城県	38	(2.1%)	長野県	27	(1.5%)	徳島県	6	(0.3%)
秋田県	5	(0.3%)	岐阜県	33	(1.9%)	香川県	12	(0.7%)
山形県	8	(0.4%)	静岡県	46	(2.6%)	愛媛県	18	(1.0%)
福島県	22	(1.2%)	愛知県	101	(5.7%)	高知県	4	(0.2%)
茨城県	37	(2.1%)	三重県	20	(1.1%)	福岡県	97	(5.4%)
栃木県	21	(1.2%)	滋賀県	17	(1.0%)	佐賀県	10	(0.6%)
群馬県	23	(1.3%)	京都府	37	(2.1%)	長崎県	11	(0.6%)
埼玉県	136	(7.6%)	大阪府	111	(6.2%)	熊本県	17	(1.0%)
千葉県	106	(5.9%)	兵庫県	64	(3.6%)	大分県	18	(1.0%)
東京都	248	(13.9%)	奈良県	25	(1.4%)	宮崎県	17	(1.0%)
神奈川県	138	(7.7%)	和歌山県	9	(0.5%)	鹿児島県	14	(0.8%)
新潟県	23	(1.3%)	鳥取県	8	(0.4%)	沖縄県	19	(1.1%)
富山県	15	(0.9%)	島根県	10	(0.5%)	計	1,787	(100.0%)

■　9期お取り組み及びご協力企業様（※順不同）

・NS ユナイテッド海運株式会社
・TOPPAN ホールディングス株式会社
・TOPPAN 株式会社
・TOPPAN エッジ株式会社
・株式会社 NSQ
・株式会社時代工房
・株式会社ニフコ
・株式会社フォーバルテレコム (OSUSO)
・サントリービバレッジソリューション株式会社
・社会福祉法人 全国社会福祉協議会
・シャディ株式会社
・ソフトバンク株式会社
・ブックオフコーポレーション株式会社
・一般財団法人 TOPPAN 印刷三幸会
・一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会
・株式会社 HR イノベーション
・株式会社 八洋
・株式会社 ADK マーケティング・ソリューション
・株式会社 BeBlock
・株式会社 CIJ
・株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
・株式会社 MOGU
・株式会社 STYZ
・株式会社アイ・コーポレーション
・株式会社イデビュ
・株式会社ウィンドベル
・株式会社エコリング
・株式会社オーディオテクニカ
・株式会社オクムラ
・株式会社オフィス DB
・株式会社キリンビバックス
・株式会社くらつぐ
・株式会社コーシン
・株式会社サーヴォ
・株式会社タツミコーポレーション
・株式会社プリントパック
・株式会社ベネフィット・ワン
・株式会社ヤマデン
・株式会社リコモス
・株式会社レボル
・株式会社幸和
・株式会社神奈川ナブコ
・株式会社日本取引所グループ
・金鶴食品製菓株式会社
・公益社団法人日本フィランソロピー協会
・三国ワイン株式会社
・三和ホールディングス株式会社
・大有建設株式会社
・都築電気株式会社
・日本セイフティー株式会社
・日本マニファクチュアリングサービス株式会社
・日本リユースシステム株式会社
・馬淵建設株式会社
・飯能商工会議所
・有限会社東方商事
・有限会社南印度洋行
・有限会社文化センターボックス

※以降、TOPPAN ホールディングス共催
「可能性アートプロジェクト」にてお取り組み

・株式会社安藤・間
・安藤ハザマ興業株式会社
・株式会社日本能率協会マネジメントセンター
・住友不動産ヴィラフォンテーヌ株式会社
・コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
・東テク株式会社
・住友不動産株式会社
・清水建設株式会社
・パナソニック ホールディングス株式会社
・大成温調株式会社
・株式会社ニチレイ
・株式会社サンコー

以上、全 69 社

一般社団法人 障がい者アート協会
埼玉県飯入間市小谷田656-2グリーンコート101

代表理事 熊本 豊敏
専務理事 水谷 陽平
理　　事 柴田 礼子